

「タイヤの円周×回転数＝通勤距離」(上岡・林田)

事務所建物入口にて撮影

暑い日が続いています。夏にもいろいろ健康法は試していますが、今回は自転車です。私、上岡(写真右)は子供を乗せることもあるためアシスト付きを選択しました。片や、林田(写真左)はノーマルママチャリです。二人とも通勤で自転車を利用しておまして、距離、到着時間もほぼ同じです。共通する悩みがありまして、事務所へ到着した後の事です。どっとでる汗。テカるオデコ。ひたすら何事もないそぶりで体の熱が冷めるまでしのであります。お客様へそんな暑いそぶりは見せられません。涼しい顔でお待ちしております。



今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：年金積立金管理運用独立行政法人】

公的年金である厚生年金と国民年金の年金積立金の管理・運用を行っている厚生労働省所管の独立行政法人。年金積立金とは保険料収入の余剰分のことで、これを国内外の株式や債券に投資し、運用で得た収益を年金給付の財源として国庫に納めている。1961年の国民年金開始以降、公的年金の積立金の管理・運用は年金福祉事業団が担ったが、2001年の法改正により年金資金運用基金へと変わり、2006年に現体制となった。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【夫婦二人三脚で立身出世：山内一豊】

信長、秀吉、家康に仕えて戦国の乱世を生き抜いた山内一豊は1545年、尾張(愛知県西部)に生まれました(出自については異説あり)。父は岩倉織田家の家老でしたが、尾張の覇権をめくり清州・岩倉の両織田家は抗争の最中。信長の攻撃で岩倉織田家は壊滅状態となり、幼い一豊は父と兄と主君を失います。家族を支えるために士官の先を求めて尾張から近江に至るまで諸国を放浪した末に信長に登用され、22歳の頃には信長の命で秀吉に仕えるようになります。内助の功で知られる妻・千代とは25歳頃に結婚し、その後、近江の唐国に400石を与えられ初めて領主となります。とはいえ、この頃の家計は火の車でした。それは、いつか功名をあげるために無理をしながら多くの家臣を抱えていたことと、情に厚いゆえ頼ってきた者を断れず召し抱えていたためといわれています。あまりの資金不足に出陣を断念しかけることもあり、そんなときは千代がへそくりを出して急場をしのいでいたようです。時は流れて主君・秀吉が没すると、機敏に流れを読み家康側につきまします。さらに千代の機転も手伝って、天下分け目の戦いを勝ち抜きます。実の娘の死後も側室を迎えることなく千代を大切にした一豊は、家康の信頼も厚く土佐20万石の大封を得ます。「一国一城の主」という夫婦の夢を実現したのは、夫婦の深い絆でした。



今を生きる 先人の言葉

灯りを消す方が
よく見えることがある

心理学者である河合隼雄の言葉。困ったときでも慌てることはない。頭の中の雑念を取り払い、真っ暗闇の静寂の中でじっくり考えた方がうまく行く場合もある。

トレンドを斬る!

かつてハイテク電気機器の代名詞であったメイド・イン・ジャパンは今、最高品質の日用品として新たな脚光を浴びています。

使い勝手を徹底的に追及した食品用のラップや、岐阜県関市の刀匠による切れ味鋭い爪切り、ラバーによる摩擦で消せるボールペンなど、日本人ならではの機転の利いた開発力と細部にまで行き届いた芸の細かさで海外から高い評価を得ています。製品の出来の良さに加え、当たり外れのない品質の高さも絶賛的でもノづくり日本の面目躍如です。

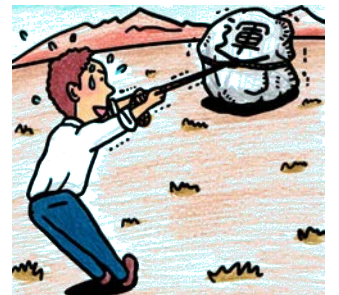


365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【幸せの種をまこう】

人の成功を素直に喜べないことは誰にでもあるでしょう。そんなとき「あいつは運が良かっただけさ」とか、「今回は俺に運が向いてこなかった」などと自分を慰めてみても後味は悪いものです。

マーフィーの法則によれば、運は均等にあるそうです。「この世に運のいい人も、悪い人も存在しません。ただひとついえることは、運を引き寄せられる人と引き寄せられない人がいるだけで、運は均等にあります」。たとえ自分に都合の悪いことがあっても「運」のせいにするのではなく、良い結果が後からついてくるような行動にシフトしてみませんか。今から100年以上前に、イギリスの作家ジェームズ・アレンが『「原因」と「結果」の法則』という本を書きました。成功哲学の祖デール・カーネギーにも大きな影響を与えた人です。その本にはこう書かれています。



「私たちがこれまで考えてきたこと（原因）が、私たちを、いまの環境（結果）に運んできたのです」。つまり毎日の仕事は「原因という種まき」ともいえます。商売で成果が出たとしたら成果が出るような種をまいたということで、運が良かったわけではない。失敗も運のせいではなく、まいた種に問題があったから。



商売の浮き沈みを原因と結果の法則に当てはめるとこうなるのではないのでしょうか。原因があって結果がある。至って当たり前のことですが、100年も前からいわれていることがちゃんと実践できていないから、つい運のせいにしてしまうのでしょうか。原因は目の前にあるとは限りません。いつまいたか忘れてしまったような種が思わぬときに芽を出すこともあります。思うような結果にならないときは謙虚に結果を受け入れて、次は「良い結果」に結びつくような種をまく。この繰り返しを「仕事」と呼ぶのかもしれませんが。同書にはこうも書かれています。

「自分の環境を直接はコントロールできないかもしれませんが、でも、自分の思いは完璧にコントロールできます」。やはりすべては自分次第というわけですね。

トナリの

本棚



【夕景・夜景の正しい撮り方】

星空、花火、ライトアップされた夜の紅葉。感動して撮影したのに、いざ写真を見るとガッカリということはありませんか。失敗しないハウツーが盛りだくさんの本書を参考に撮れば、ワンランク上の仕上がりに！写真集としても楽しめますよ。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎